

キャラクター名 朔間 玖音(さくま くおん)	プレイヤー名
---------------------------	--------

シンドローム	キュマイラ ブラックドッグ		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	男
覚醒	死	衝動	憎悪	初期侵食率	36	%
出自	天涯孤独	経験	記憶喪失	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	5	1	1			7	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タ イ ム ス	消 費	
理解者	P 尊敬	N 嫉妬			
記憶の中の誰か	P 友情	N 恐怖			
記憶の中の大人	P 信頼	N 不安			
助けてくれた女性	P 信頼	N 不信感			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
破壊の爪	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手のデータを変更。種別:白兵、技能:白兵、命中:0、攻撃力:+lv+8、ガード値:1、射程:至近							
コンセントレイト(ブラックドッグ)	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	組み合わせた判定のC値-lvする。							
フルパワーアタック	2	4	セットアップ	至近	自身	-	80↑	
効果:	そのラウンド中、自身が行う白兵攻撃の攻撃力+lv×5する。ただし、そのラウンドの間、自身の行動値は0となる。このエフェクトによる行動値への修正値は他のエフェクトに優先する。							
イオノクラフト	3	1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	飛行状態で戦闘移動を行なう。その際、移動距離を+lv×2mする。							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	このシーンの間、肉体の能力値を使用したあらゆる判定のダイスを+lv+2個する。ただし、このエフェクトが持続している間、素手を除くアイテムは全て装備、使用不可となる。							
アタックプログラム	2	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃の命中判定の達成値を+lv×2する。							
フルインストール	3	5	イニシアチブ	至近	自身	-	100↑	
効果:	他エフェクトと組み合わせ不可。そのラウンド間、自身が行なうあらゆる判定のダイスを+lv×3個する。このエフェクトは1シナリオに1回まで。							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

■PC1  
シナリオロイス：助けてくれた女性（推奨感情 P:任意/N:任意）  
推奨カヴァー/ワークス：高校生/指定なし  
シナリオ中に覚醒するためまだオーヴァードではない。  
また「覚醒」「死」にすると導入がスムーズに行く。

貴方はR市に住む一般人。  
学生として今は夏休みを謳歌している事だろう。  
あの夏の、あの事故に巻き込まれるまでは。

-----

高校生とは思えない体躯に恵まれた彼だが、その過去は全て謎に包まれている。何を尋ねたとしても「知らない」「忘れた」「アタタに言う必要があるのか？」のどれかが返ってくる。  
そんな態度を取っているからか、悪目立ちし同級生は勿論、先輩からも距離を置かれている。  
そんな彼の唯一とも言える友人は通学路途中のピアノ教室にいる黒猫だけ。ちなみにそのピアノ教室に友猫に会いに行くついでに先生と仲良くなり、今では家事を手伝う代わりにピアノを習わせて貰っている。

大半を記憶喪失と忘却で誰かを信じるまでに時間が掛かるが、心のどこかで信頼を寄せられる誰かを探しているとか。